

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪千代田短期大学
設置者名	学校法人千代田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	幼児教育科	夜・通信	0	0	18	18	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内 「2020年度の「修学上の情報等」3. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画」

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪千代田短期大学
設置者名	学校法人千代田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	真言宗寺院 主管者	2008. 4. 1- 主管者在職 中	建学の精神にもと づく教育への助言
非常勤	社会福祉法人理事	2018. 4. 1- 2022. 3. 31	経営的事項に関す る分析と助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪千代田短期大学
設置者名	学校法人千代田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>12月から1月にかけてWEB上の入力フォームへ担当教員が入力する形でシラバス(授業計画書)の原稿作成を行っている。作成に当たっては単に項目を設定するだけでなく、教員がシラバス作成するにあたって使用する入力フォーム中に記入の際の指針を明記し、学生にとって授業計画が明確なシラバスが作成されるよう工夫を行っている。</p> <p>原稿データは教務担当教員及び事務職員が集団的に確認を行い、形式的不備や成績評価の基準が適切でない記述については担当教員に依頼し修正をおこなっている。シラバスは冊子「講義要綱」として年度開始前3月におこなうオリエンテーションで学生に配布している。併せてPDF形式でWEBで一般にも閲覧可能な状態で公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内「2020年度の「修学上の情報等」3. 講義要綱」</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学校全体の評価基準を「試験と成績評価に関する規程(*添付資料)」に定め、冊子「学生便覧」およびWEB上で学生に周知しており、また各科目における評価方法と基準については“1.”に示した方法で学生に示したシラバスによりあらかじめ学生に公表している。</p> <p>授業内容・形態に応じて筆記試験・レポート・実技試験など適切な方法を複数組み合わせ、学習成果の評価をおこなっており、科目ごとに組み合わせ・配点は異なるため、シラバス上で配点についても明示しており、学生が自律して学習に取り組めるよう配慮している。また学期末には、改めて評価基準及び評価方法、試験時間割について整理をおこなったものを学生に配布している。</p> <p>各担当者から提出された成績データ全学生・全科目の掲載された一覧を作成し、学科会議及び教授会において適切な評価が行われていることを確認し、単位認定している。</p> <p>本試験で単位認定基準に達しない学生に対しては再試験、卒業にあたって単位数が不足する学生のうち一定の基準を満たすものには卒業特別試験という制度を置き、複数の受験機会を与えているが、学生・担当教員双方に基準に達するものを救済するための試験でなく、基準に達するため、学生を基準にまで引き上げるためのチャンスであることを繰り返し周知し、学習の支援に努めたうえで実施している。その結果基準に達しない学生については当然単位認定を行わない。</p> <p>なお、2020年度前期については、新型コロナウイルス感染症対策として多くの科目をオンライン授業に変更、または時期を変更して実施している。変更にあたっては学内のLMS(Google Meet)や電子メール・郵送等を併用しながら事前に周知を行った。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「試験と成績評価に関する規程」においてGPAの基準をさだめ、公表している。各個人のGPAについて学期末に配布する成績表に掲載している。</p> <p>「試験と成績評価に関する規程」より</p> <p>第1条 科目の修了を認定するには、平素の学業と、原則として学期毎に行う試験その他の成績を以ってする。それは次の点数及び評語によって示される。</p> <p>S…90～100、A…80～89、B…70～79、C…60～69(以上は合格)</p> <p>F…59以下(不合格)、K…(期末試験欠席・期末レポート等の未提出)、H…(受験資格なし・受講放棄)</p> <p>2 前項の定めその他に、他学での既修得単位の読替えなどによる認定科目についてはP(認定)を評価とする。</p> <p>第2条 前条の成績の評価に対してグレードポイント(GP)およびグレードポイントアベレージ(GPA)を次の各号のとおり定める</p> <p>評語…GP</p> <p>S…4、A…3、B…2、C…1、F…0、K…0、H…0</p> <p>P…GPなし</p> <p>2 GPAの算出基準</p> <p>GPA = (科目のGP×その科目の単位数)/総履修単位数(小数第3位切り捨て)</p> <p>ただしP(認定)科目の単位数は計算に含めない)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内項目「2020年度の「修学上の情報等」4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>以下の学位授与の方針(卒業の認定方針)を定め、ホームページ上で公開している。</p> <p>幼児教育科では、人間の生涯発達の視点から、子ども・高齢者・障害者の教育や福祉支援に関する学習により、専門的知識・技術及び倫理観を身につけ、幼稚園教諭・保育士・介護福祉士を始めとする教育・福祉専門職として活躍できる人材の養成を目的として、以下の能力を有するに至った者に短期大学士の学位を授与する。</p> <p>1) 子どもの保育・教育に対する情熱・使命感・責任感を身につけている。 2) 保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身につけている。 3) 課題探求能力を持ち、自ら解決しようとする姿勢を身につけている。 4) 子どもとその家族を始めとする人権を尊重する心と術を身につけている。</p> <p>以上の方針にもとづき定めた必修科目、選択必修科目及び選択科目の必要単位を、厳正な評価基準にもとづき修得したものに対して教授会の議を経て学長が卒業認定をおこなっている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内「2020年度の「修学上の情報等」6. 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報」</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪千代田短期大学
設置者名	学校法人千代田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/
収支計算書又は損益計算書	https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/
財産目録	https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/
事業報告書	https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/
監事による監査報告(書)	https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_04/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 学校法人千代田学園第二期学園振興中期計画)	
対象年度: 2018年度~2020年度)	
公表方法: https://www.chiyoda-gakuen.jp/report_03/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内「その他の情報、上記の情報について分かりやすく加工した情報」4. 自己点検・認証評価

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内「その他の情報、上記の情報について分かりやすく加工した情報」4. 自己点検・認証評価

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内「2020 年度の「教育研究上の基礎的な情報」1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的」)
(概要) 本短期大学（大阪府河内長野市小山田町 1685 番地）は、千代田学園の設置目的である「弘法大師の興学精神」に基づいた現代的市民教育の遂行を基本目的とし、教育基本法及び学校教育法に則って、教養あり且つ有為な社会人としての能力及び人格を具えた人間性豊かにして創造的生活をなしうる人材の養成を目的とする。 幼児教育科は、本学における人材養成に関する目的及び本学の教育理念を幼児教育者・保育者養成事業において具体化し、社会の真の要請に応える質の高い幼児教育者・保育者を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.chiyoda.ac.jp/pdf_disclosure/dp_cp_2020.pdf)
(概要) 幼児教育科では、人間の生涯発達の視点から、子ども・高齢者・障害者の教育や福祉支援に関する学習により、専門的知識・技術及び倫理観を身につけ、教育・福祉専門職として活躍できる人材の養成を目的として、以下の能力を有するに至った者に短期大学士の学位を授与する。 1) 子どもの保育・教育に対する情熱・使命感・責任感を身につけている。 2) 保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身につけている。 3) 課題探求能力を持ち、自ら解決しようとする姿勢を身につけている。 4) 子どもとその家族を始めとする人権を尊重する心と術を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.chiyoda.ac.jp/pdf_disclosure/dp_cp_2020.pdf)
(概要) 1) 広く人格形成に資する一般教養科目を設置している。 2) 学習効果を高め学生一人ひとりの成長を図るために、少人数による授業の実施に努めている。 3) 知識活用力、論理的思考力、課題探究・解決力、表現力、コミュニケーション力など、社会人・地域の一員として必要不可欠な能力を育成するために、参加型・双方向型の授業（ゼミナール等）を実施している。 4) 保育士資格と幼稚園教諭二種免許状を認定するための専門的知識・技術及び倫理観を体系的に身につけるために、資格に関する専門科目を設置している。 5) 高い倫理性に基づいた実践力を養うために、実習科目を重視し、丁寧な個別指導を実施している。 6) 保育学・幼児教育学と隣接した分野の学びを提供し、関連資格の取得を支援するために、本学の生涯学習センターとの連携体制を作っている。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.chiyoda.ac.jp/pdf_disclosure/admission_policy_2020.pdf)
(概要) 本学の教育理念、教育方針に共感し、教育・保育・福祉分野に携わることに意義を見出している学生を受け入れる。 1) 高等学校までに学ぶ科目の内容を幅広く理解している。

- 2) 自分とは異なる考えに耳を傾け、それを尊重した上で自身の意見を述べるができる。
- 3) 周囲の人と協調性を持って行動できる。
- 4) 子どもの置かれている環境に関心を持ち、その成長・発達を支えようとする姿勢と、専門的知識・技術を積極的に学ぼうとする意欲を持っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/>
 ページ内「2020年度の「修学上の情報等」 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
幼児教育科	—	2人	2人	9人	人	人	13人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
— 人			23人				23人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：公表方法： https://www.chiyoda.ac.jp/pdf_disclosure/01_gakui.pdf						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
1. 各学期ごとに授業見学期間を設け、原則すべての授業をすべての教員・事務職員が見学可とし、交流と研鑽の機会としている。 年1回ないし2回の全体研修会を行い教育力の向上に努めている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育科	130人	94人	72%	280人	160人	57.1%	0人	0人
合計	130人	94人	72%	280人	160人	57.1%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育科	77人 (100%)	2人 (2.6%)	68人 (88.3 %)	7人 (9.1 %)
合計	77人 (100%)	2人 (2.6%)	68人 (88.3 %)	7人 (9.1 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児教育科	87人 (100%)	75人 (86.2 %)	1人 (1.1 %)	11人 (12.6 %)	0人 (0.0 %)
合計	87人 (100%)	75人 (86.2 %)	1人 (1.1 %)	11人 (12.6 %)	0人 (0.0 %)
(備考) 2018年度入学生の2020年度4月1日現在の状況					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>12月から1月にかけてWEB上の入力フォームへ担当教員が入力する形でシラバス(授業計画書)の原稿作成を行っている。作成に当たっては単に項目を設定するだけでなく、教員がシラバス作成するにあたって使用する入力フォーム中に記入の際の指針を明記し、学生にとって授業計画が明確なシラバスが作成されるよう工夫を行っている。</p> <p>原稿データは教務担当教員及び事務職員が集団的に確認を行い、形式的不備や成績評価の基準が適切でない記述については担当教員に依頼し修正をおこなっている。</p> <p>シラバスは冊子「講義要綱」として年度開始前3月におこなうオリエンテーションで学生に配布している。併せてPDF形式でWEBで一般にも閲覧可能な状態で公開している。</p> <p>公表方法: https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/ ページ内 「2020年度の「修学上の情報等」 3. 講義要綱」</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>以下の学位授与の方針(卒業の認定方針)を定め、ホームページ上で公開している。</p> <p>幼児教育科では、人間の生涯発達の視点から、子ども・高齢者・障害者の教育や福祉支援に関する学習により、専門的知識・技術及び倫理観を身につけ、幼稚園教諭・保育士・介護福祉士を始めとする教育・福祉専門職として活躍できる人材の養成を目的として、以下の能力を有するに至った者に短期大学士の学位を授与する。</p> <p>1) 子どもの保育・教育に対する情熱・使命感・責任感を身につけている。 2) 保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身につけている。 3) 課題探求能力を持ち、自ら解決しようとする姿勢を身につけている。 4) 子どもとその家族を始めとする人権を尊重する心と術を身につけている。</p> <p>以上の方針にもとづき定めた必修科目、選択必修科目及び選択科目の必要単位を、厳正な評価基準にもとづき修得したものに対して教授会の議を経て学長が卒業認定をおこなっている。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要な単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>幼児教育科</td> <td>62 単位</td> <td>④・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)		幼児教育科	62 単位	④・無	単位
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)						
	幼児教育科	62 単位	④・無	単位						
GPAの活用状況 (任意記載事項)	公表方法:									
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法:									

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法:</p> <p>https://www.chiyoda.ac.jp/campuslives/campusmap/ https://www.chiyoda.ac.jp/pdf_disclosure/campus.pdf</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児教育科	700,000 円	200,000 円	400,000 円	2020年度入学生より授業料を年間800,000円から年間700,000円に減額した

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none">◆ゼミナール担任制 大学での学習は自分自身で切り拓いていくもの、とはいえ、高校生活との違いに戸惑う場面も多いもの。 20人程度の少人数のゼミナールに全員が所属し、専任教員が担任として一人ひとりの学修への不安をサポートします。◆プレカレッジの実施 入学予定者を対象に、それぞれのコースでの専門的な学びを充実したものにするために、入学前の「プレカレッジ」を開催しています。12月から3月にかけて1回60分×2回の授業を計4回行います。◆修学状況への適切なアドバイス 学科の全ての学生の顔の見える規模の短期大学ですから、ゼミナール担当教員はもちろん、学科の全ての教員が、一人ひとりの学生の修学状況を理解して、アドバイスを行っています。◆学費負担の軽減<ul style="list-style-type: none">◎奨学金制度利用サポート 奨学金の利用で負担軽減が可能なのに、制度への理解がないまま修学をあきらめてしまうことの無いよう、また貸与制奨学金の過剰な利用によって卒業後の負担が必要以上に大きくならないよう、将来を見据えたアドバイスを行っています。◎授業料等特別分納 対象者は、入学金を除く授業料・教育充実費・入学者諸費用を、貸与される奨学金の範囲内で入学後、特別に分納できる制度。 入学後も諸事情により家計等が急変した場合、別途相談に応じる態勢をとっています。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none">◆小規模短期大学の特徴を生かし、すべての学生の顔や名前はもちろん、希望進路や就職希望地を把握し、丁寧に個別支援を行っています。 卒業生の就職先を訪問し、現場の求める人材や卒業後の動向を把握し、その情報に基づいた進路支援を行っています。◆1回生から就職関連の授業や講座を実施し、全体指導を行っています。 主な講座内容<ul style="list-style-type: none">・新卒者で就職する意味 ・就職環境についての情報提供・日本社会の雇用状況 ・マナー講座 言葉遣いや手紙の書き方、電話のかけ方など・業種・業界研究 ・職種研究・適性検査 ・就職活動準備講座（自己分析の仕方・履歴書の書き方など）・先輩との交流シンポジウム ・採用試験対策講座 ・面接必勝講座・内定者研修講座（研修の心構え・社会人に求められるスキル・労基法など）◆1回生時に全員に進路面談を実施しています。◆卒業後の就職相談・定着支援も行っています。
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none">◆健康診断 毎年4月、学生全員を対象に健康診断（一般検診）を実施します。◆保健室 ケガの初期的処置（消毒・止血）や体調不良時の休養ができます。また、学生の日常的な健

康相談にも対応します。「保健だより」も発行。担当：養護教諭

◆AED の設置

学内に AED を設定しています（2 箇所）。

◆学生相談室

本学では、学生の心の健康をサポートするために学生相談室を設けています。

相談内容：学校生活（授業、実習など）や家庭生活上の悩みや友人関係や健康上の悩みなど、相談したい、何か助言が欲しいこと。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<https://www.chiyoda.ac.jp/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。